

お知らせ

□県内企業のIoT対応のための相談窓口を開設

様々なモノをインターネットに接続するIoT(Internet of Things)により、新たな付加価値やサービスを創出することが注目されており、当工業試験場にもIoTに関するご相談が寄せられています。IoTに関するご相談は、複数の技術分野(機械、電子、繊維、食品等)にまたがることから、電子情報部にご相談を一元的にお受けするための窓口を設け、各部が連携して対応していくこととしました。例えば、

- ・IoTで使われる言葉の意味を知りたい(例:機械学習とは何?)
- ・自社製品に遠隔監視・制御する機能を設けるには?
- ・自社製品の稼働状況などのデータを収集・解析し、新たなサービスを展開するには?

・生産設備にセンサを取り付けるなど生産管理を高度化し、コスト削減や品質向上を図るには?

など、IoTに関するご相談がございましたら、ぜひお気軽にお問い合わせください。(一社)石川県情報システム工業会のものづくり産業等IoT化推進研究会などの関係機関のご協力もいただきながら、対応していきます。

また、県内でのIoT関連の取組を加速するために、工業試験場では、新たに様々な専門職員によりチームを編成して、県内企業を強力に支援します。例えば、IoTによる機械の稼働状況の収集・解析を実現するために、機械、センサ、ソフトウェアの担当職員のチームが、機械の特性や構造に応じたセンサの活用方法や、ソフトウェアによるデータ解析などの課題解決を行います。さらに、IoTに関するセミナーも技術的事項に限らず、身近な導入事例の紹介など、幅広い内容で開催し、多くの方々にご参加いただけるよう、(公財)石川県産業創出支援機構などとも連携します。IoT関連のことでしたら、何なりとお気軽にご連絡ください。

<IoT相談窓口> 電話 076-267-8084(電子情報部) メール iot@iriii.jp

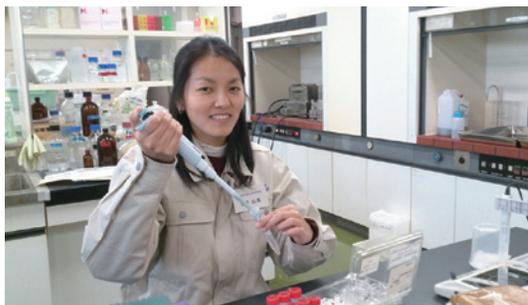


□ 技術セミナーの様子

□ブラジルからの研修員を受け入れ

平成28年度石川県南米県人会技術研修員事業により、10月3日～11月25日の8週間、ブラジルの技術者カチア・由美・山本さんを受け入れました。カチアさんは、サンパウロ大学で食品化学を専攻し、発酵食品に興味を抱いていたこともあり、日本の発酵食品の技術について研修を行いました。

まず、麹菌を使った米の甘酒を作る技術を習得しました。さらに日本を代表する発酵食品である日本酒について取り組み、酵母の培養から、仕込み、搾りまでの一連の工程を実習し、自分で作ったオリジナル日本酒を試醸し、その評価まで行いました。今回の研修で得られた日本の高い発酵技術を、今後ブラジルで活かしたいとの意欲を示していました。



□ 食品の研修に取り組むカチア・由美・山本さん

□産総研つくばセンターラボツアー開催報告

平成28年11月25日、県内企業と(国研)産業技術総合研究所との連携を促進するため、産総研つくばセンターのラボツアーを開催しました。12社13名が参加して、自由な形状に曲がる電子デバイスの製造技術や、多品種少量のデバイス生産システム(ミニマルファブ)の最新技術を学ぶと共に、意見交換を行い技術交流を深めました。

今後も、産総研石川サイトでは、産総研の技術シーズの紹介や研究者との接点づくりを図っていきます。



□ 熱心に視察する参加者(ミニマルファブにて)